

「第2期 高知県がん対策推進計画」の取組状況

資料1

項目・目標値	取り組む施策	平成26年度	平成27年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
がん対策推進計画の進捗・管理 全体目標 (1) がんによる死亡者数の減少 がんの年齢調整死亡率 (75歳未満人口10万対) H25-27平均 73.1 (2) がん患者、その家族及び 遺族の満足度の向上	○がん対策推進協議会の開催	【取り組み状況】 ・協議会を2回実施 第17回 H27.1.8 第18回 H27.3.17 【現状値】 ・がんの年齢調整死亡率(75歳未満人口10万対) H23-25平均:83.3 (H23:86.5、H24:78.3 H25:85.1)	【取り組み状況】 ・協議会 第19回 H27.9.10 第20回 H28.3.28 【現状値】 ・がんの年齢調整死亡率(75歳未満人口10万対) H24-26平均:80.6 (H24:78.3 H25:85.1 H26:78.4)
	患者満足度の把握	※2年に1回の調査 次回調査 H27年度	【取組状況】 ・患者満足度等調査の実施(H27.7.1~H27.8.15) 協力機関数:23(病院19、診療所3、患者会1) 回答 782名(回収率 57.0%) (H25回答 744名(回収率 51.2%))
1. がん予防及び早期発見の推進 個別目標 (1) 喫煙率 男性 20%以下 女性 5%以下 (2) 受動喫煙率 家庭 3%以下 職場 10%以下 飲食店 14%以下 (3) アルコール摂取量 (1日あたりの純アルコール摂取量 男性40g以上、女性20g以上の者) 男性 15%以下 女性7%以下 (4) 運動習慣者の割合の増加 20~64歳 男性36%以上 女性33%以上 65歳以上 男性58%以上 女性48%以上 (5) 食塩摂取量 8.0g以下 野菜摂取量 350g以上 (6) 子宮頸がん予防ワクチンの 接種率を90%以上にする (7) 肝炎検査の陽性者が適切な 治療を受けている	○喫煙対策	※5年に1回の調査 次回調査 H28年度 【取り組み状況】 ・ノンスモーカー応援施設の認定 312施設 (H27.3現在) ・空気もおいしい禁煙・分煙店舗 141施設 (H27.3現在) ・とさ禁煙サポーターズの養成(終了) 922名(H22年度~H26年度) ・たばこ対策専門部会 1回開催(H26.12.18)	※5年に1回の調査 次回調査 H28年度 【取り組み状況】 ・ノンスモーカー応援施設の認定 355施設 H28.3現在 ・空気もおいしい禁煙・分煙店舗 158施設 H28.3現在 ・とさ禁煙サポーターズフォローアップ講習会(各圏域で開催 : 5回 206名) ・たばこ対策専門部会 1回開催(H28.2.15)
	○生活習慣改善	※県民健康栄養調査 5年に1回の調査 次回H28年度 ※国民健康栄養調査 4年に1回の調査 次回H28年度	※県民健康栄養調査 5年に1回の調査 次回H28年度 ※国民健康栄養調査 4年に1回の調査 次回H28年度
	○感染に起因するがん対策	(6) 子宮頸がん対策 ・子宮頸がん予防ワクチン H25.4より予防接種法に基づく定期接種として実施していたが副反応の問題で H25.6より積極的な接種勧奨が中止されている。 (7) 肝炎対策 ・肝炎ウイルス検査の実施 (県実施分)B型:477件、C型:487件 ・肝炎治療の助成 インターフェロン治療:158件、核酸アナログ製剤治療:422件、インターフェロンフリー治療:125件 ・ウイルス性肝炎対策啓発事業 新聞広告・ケーブルテレビCMの放映 啓発チラシの配布、啓発イベントの開催 (イベント:高知市・いの町・香南市) ・【新】精密検査費用の助成 対象者 初回精密:全員 定期検査:住民税非課税世帯 初回:6件 定期:6件 ○成人T細胞性白血病対策 ・妊婦健康診査でのHTLV-1抗体検査の実施	(6) 子宮頸がん対策 ・子宮頸がん予防ワクチン H25.4~予防接種法に基づく定期接種化 H25.6~副反応の問題で積極的な接種勧奨を中止 (7) 肝炎対策 ・肝炎ウイルス検査の実施 (県実施分)B型:457件、C型:458件 (H27年度実績) ・肝炎治療の助成 (H28.2末現在実績) インターフェロン治療:17件、核酸アナログ製剤治療:302件、インターフェロンフリー治療:590件 ・ウイルス性肝炎対策啓発事業 新聞広告・ケーブルテレビCMの放映 啓発チラシの配布、啓発イベントの開催 (イベント:高知市・須崎市・室戸市) ・精密検査費用の助成 対象者 初回精密:全員 【改】定期検査:住民税235,000円未満世帯 初回:14件 定期:67件 (H28.3.11現在)
	○成人T細胞性白血病対策	・妊婦健康診査でのHTLV-1抗体検査の実施	・妊婦健康診査でのHTLV-1抗体検査の実施

項目・目標値	取り組む施策	平成26年度	平成27年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
(8) すべての市町村が精度管理・事業評価を実施するとともに科学的根拠に基づくがん検診を実施する。	○がん検診の精度向上	(8) がん検診精度管理 ・各市町村でがん検診精度管理調査を実施 ・がん検診に関する市町村担当会の開催 ・高知県健康診査管理指導協議会の開催 (協議会1回 部会5回 開催)	(8) がん検診精度管理 ・各市町村でがん検診精度管理調査を実施 ・がん検診に関する市町村担当会の開催 (4月、9月) ・高知県健康診査管理指導協議会の開催 (協議会1回 部会5回 開催)
		○がん検診の受診促進 ○精密検査の受診促進	○がん検診の受診促進 ○精密検査の受診促進
(9) がん検診の受診率を胃・大腸は40% (当面)、肺・子宮・乳は50%にする (算定対象年齢は、40～69歳 (子宮は20～69歳))		【現状値】 (9) がん検診受診率 (40～69歳 (子宮頸は20～69歳)) H25実績 肺がん 42.2% 乳がん 40.8% 胃がん 32.0% 子宮頸がん 37.5% 大腸がん 34.3%	【現状値】 (9) がん検診受診率 (40～69歳 (子宮頸は20～69歳)) H26実績 肺がん 46.7% 乳がん 40.2% 胃がん 33.0% 子宮頸がん 36.0% 大腸がん 36.2%
(10) 40～50歳代のがん検診受診率を50%にする		(10) がん検診受診率 (40～59歳) (H25:市町村検診+職域検診) 肺がん 50.8% 乳がん 47.6% 胃がん 38.2% 子宮頸がん 43.8% 大腸がん 38.6%	(10) がん検診受診率 (40～59歳) (H26:市町村検診+職域検診) 肺がん 52.4% 乳がん 47.5% 胃がん 39.6% 子宮頸がん 44.4% 大腸がん 41.2%
		【取り組み状況】 ・がん検診推進事業 (無料クーポン事業:国補助事業) 子宮頸・乳:28市町村、大腸:14市町村 ・がん検診受診促進事業 (市町村補助金) 個別通知など市町村が行う受診促進の取組を支援。 ・がん検診利便性向上対策事業 (総合保健協会・医療機関補助金) 市町村がん検診のセット化促進の取組を支援。 乳・子宮頸がん検診の医療機関検診の対象者の拡大を支援。 ・居住地以外の市町村でも受診可能な広域検診の実施 43日 ・【新】 検診指針を改正し冬期限定で大腸がん郵送回収事業を実施。 ・従業員や家族をがんから守る優良事業所認定事業 参加57社 認定50社 ・がん検診啓発事業 イベント開催(イオンモール高知9/7 こうち旅広場10/18) テレビCM275本,ラジオCM169本放映,ポスター・リーフレット作成 ・協定企業との取組 ◆東京海上・高知銀行 H20.7.23締結 ピンクライトアップ 10/1-2,チラシ配布+乳がん無料検診10/18 ◆アフラック・第一生命・四国銀行 H22.7.28締結 企業が独自に啓発チラシを作成・配布 アフラック:チャリティコンサート (H26.11.17)	【取り組み状況】 ・無料クーポン事業:国補助事業 【改】 子宮頸・乳:H25未受診:12市町村、新規+過去未受診:18市町村 【新】 精密検査未受診:7市町村 【継】 大腸:14市町村 ・がん検診受診促進事業 (市町村補助金) 個別通知など市町村が行う受診促進の取組を支援。【改】 対象年齢拡大 ・がん検診利便性向上対策事業 (総合保健協会・医療機関補助金) 市町村がん検診のセット化促進の取組を支援。 乳・子宮頸がん検診の医療機関検診の対象者の拡大を支援。 【新】 土日検診を実施する医療機関の増による受診機会の拡大を支援。 ・居住地以外の市町村でも受診可能な広域検診の実施 50日 (1/15-3/18) ・大腸がん郵送検診事業 (冬期限定で郵送回収事業を実施) ・従業員や家族をがんから守る優良事業所認定事業 参加54社 (H28.3.15現在) ・がん検診啓発事業 イベント開催(イオンモール高知 10/3) テレビCM160本,ラジオCM80本放映,YouTubeにCM動画掲載(9月) ほっとこうちに広告掲載(9月),ミリカ(10月),ポスター、リーフレット作成 ・協定企業との取組 ◆東京海上・高知銀行 H20.7.23締結 ピンクライトアップ 10/1-2,チラシ配布+乳がん無料検診10/3 ◆アフラック・第一生命・四国銀行 H22.7.28締結 企業が独自に啓発チラシを作成・配布
	○がん予防等に関する教育普及啓発	【取り組み状況】 ・講演会 (前立腺がん・食道がん) (H27.2.22) 92名 ・高知県がんフォーラムの開催 (H27.1.24) 600名 ・拠点病院等による市民公開講座の開催 ・がんに関する出前教育 H26.6.25 下田中学校(幡多けんみん病院) H27.3.11 岡豊高校(高知大学医学部附属病院) ・イベント「土佐の夢話想」でがん教育 H26.5.31 中央高校が参加	【取り組み状況】 ・第9回高知県がんフォーラムの開催 (H28.1.17) 県民文化ホール オレンジ 600人 ・拠点病院等による市民公開講座の開催 ・がんに関する出前教育 H28.3.7 北陵中学校(高知大学医学部附属病院) 85名 H27.6.10 四万十市立中筋中学校(幡多けんみん病院) 17名 H28.1.13 宿毛市立東中学校(幡多けんみん病院) 34名 ・H28.2.9 高知県立安芸高校 (いのちの授業) 83名 ・がん教育への参加(高知市内中学校3校) ・イベント「土佐の夢話想」(H27.6.6):がん教育 テーマ「肺がん」「在宅医療」

項目・目標値	取り組む施策	平成26年度	平成27年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
<p>2. がん医療の水準の向上</p> <p>個別目標 全ての拠点病院に手術療法、放射線療法、化学療法のチーム医療体制を整備する。</p>	<p>○拠点病院等の機能充実</p> <p>○がん診療に携わる人材育成</p> <p>○医療連携体制の整備</p> <p>○セカンドオピニオン体制の整備</p> <p>○小児がん対策</p>	<p>・がん診療連携拠点病院機能強化事業 補助先:高知医療センター・高知赤十字病院 県立幡多けんみん病院</p> <p>・中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム</p> <p>・国立がん研究センター主催の研修会への参加</p> <p>【現状値】 県内のがん治療に関するセカンドオピニオンに対応可能な医療機関数 28機関 (H23 医療機関がん診療体制調査)</p> <p>・小児がん中国・四国ネットワーク会議への参加 インターネット会議</p>	<p>・がん診療連携拠点病院等機能強化事業 補助先:高知医療センター・県立幡多けんみん病院・高知赤十字病院</p> <p>・中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム</p> <p>・国立がん研究センター主催の研修会への参加</p> <p>・クリニカルパスの活用 ・医科歯科医療連携事業</p> <p>【現状値】 県内のがん治療に関するセカンドオピニオンに対応可能な医療機関数 28機関 (H23 医療機関がん診療体制調査)</p> <p>・第26回小児がん中国・四国ネットワーク会議出席 (H28.1.9) インターネット会議 毎月1回開催</p>
<p>3. がん患者等への支援</p> <p>個別目標 (1) がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院及びがん相談センターこうちにおいて、相談支援機能の充実を図る。 (2) 相談活動を行うがんの体験者（ピアカウンセラー）の養成を行う。 (3) がんに関する情報を掲載したパンフレット等を配布する医療機関数を増加させる (4) すべての患者及び家族ががんに関する情報を手にできるようにする (5) 全てのがん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院は治療実績、がん診療を行う医師等の情報の公開を行う。</p>	<p>○がん相談体制の整備・充実</p> <p>○相談窓口に関わる人材育成</p> <p>○がんに関する情報提供の充実</p> <p>○就労を含めた社会的な問題対策</p>	<p>・がん患者相談事業 高知大学医学部附属病院 1,085件 (面談990 電話94 その他1) 高知医療センター 1,136件 (面談773 電話357 その他6) 高知赤十字病院 691件 (面談477 電話214) 幡多けんみん病院 207件 (面談162 電話33 その他12) 国立病院機構高知病院 531件 (面談386 電話145) がん相談センターこうち 731件 (面談286 電話282 その他36 訪問127) 6機関計 4,381件</p> <p>・心のケア相談員養成研修 7名修了</p> <p>・がん相談専門員研修 H27.2.7 受講者17名</p> <p>・がんサポートブック改訂中</p> <p>・がん相談窓口紹介カード配布</p>	<p>・がん患者相談事業 (H27.12現在) 高知大学医学部附属病院 1,018件 (面談943 電話 73 その他 2) 高知医療センター 931件 (面談603 電話316 その他 12) 高知赤十字病院 462件 (面談302 電話160) 幡多けんみん病院 166件 (面談143 電話 21 その他 2) 国立病院機構高知病院 252件 (面談183 電話 69) がん相談センターこうち 581件 (面談 211 電話263 その他21 訪問86) 6機関計 3,410件</p> <p>・心のケア相談員養成研修 H27.8.23~8.29 5名終了</p> <p>・がん相談専門員研修 H27.9.19 受講生 17名 H28.2.6 受講生 18名</p> <p>・がんサポートブック改訂</p> <p>・がん相談窓口紹介カード配布</p>
<p>4. 緩和ケアの推進</p> <p>個別目標 (1) がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修の修了者をすべての二次医療圏で増加させる (2) がん診療連携拠点病院及びがん診療連携推進病院でがん診療に携わる医師が全員緩和ケア研修を修了する (3) 緩和ケアチームや緩和ケア外来等の専門的な緩和ケアの提供体制の整備と質の向上</p>	<p>○医療従事者の育成</p> <p>○緩和ケア実施体制の充実</p>	<p>・がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会開催 (4回) 高知大学医学部附属病院主催 26名修了 高知医療センター主催 17名修了 高知赤十字病院主催 5名修了(他医師以外3名修了) 幡多けんみん病院主催 8名修了(他医師以外1名修了) →H26年度 56名修了 H20~26延べ399名修了</p> <p>・【新】フォローアップ研修会開催 県主催 12名修了</p>	<p>・がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会開催(6回) 高知大学医学部附属病院主催 H27.10.24-25、H28.1.31、H28.2.7 56名修了 高知医療センター主催 H27.8.29-30、H27.12.5-6 24名修了 高知赤十字病院主催 H27.9.6、H27.10.4 14名修了 幡多けんみん病院主催 H27.11.14-15 15名修了 →H27年度 109名終了 H20~H27延べ508名修了</p> <p>・フォローアップ研修会開催 県主催 8名修了</p>

項目・目標値	取り組む施策	平成26年度	平成27年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
<p>5. 地域の医療・介護サービス提供体制の構築</p> <p>個別目標 (1) 「在宅」という選択肢を、医療従事者、在宅療養支援者、県民に周知する。 (2) 住み慣れた家庭や地域での療養生活を選択できる体制を整える。 (3) 自宅で最後をむかえたい人の要望に応えられる体制を整備する (参考指標：がん患者の自宅看取率10%以上)</p>	<p>○医療・介護サービス従事者育成</p> <p>○在宅医療・介護サービス提供体制の構築</p>	<p>【現状値】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん患者の自宅看取率（自宅死亡割合）H25：8.1% <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種で考える地域連携緩和ケア研修会 <ul style="list-style-type: none"> H26.8.2 「講演会」 106名参加/定員150 H26.11.1 「事例検討会」 50名参加/定員60 H26.11.29 「講演会」 44名参加/定員60 H27.2.11 「模擬カンファレンス」 64名参加/定員60 在宅緩和ケア従事者研修（看護師を対象とした研修）（3日間 1.31、2.7、2.15） 修了者4名 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 第3回インテンシブコース <ul style="list-style-type: none"> H26.11.7 「在宅がん医療・緩和医療」在宅がん医療講演会 93名参加 H26.8.31 「在宅がん医療・緩和医療」集中セミナー 53名参加 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県在宅緩和ケア推進連絡協議会開催 第1回H26.7.28 第2回H27.3.12 在宅緩和ケア推進連絡協議会作業部会 <ul style="list-style-type: none"> 第1部会 病院連携力向上部会 (2回開催) 第2部会 地域支援体制充実部会 (1回開催) 第3部会 緩和ケア研修部会 (11回開催) 第4部会 患者の声を届ける部会 (4回開催) 【新】在宅療養経験家族向けアンケート調査準備中 	<p>【現状値】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん患者の自宅看取率（自宅死亡割合）H26：7.8% <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種で考える地域連携緩和ケア研修会 <ul style="list-style-type: none"> H27.7.25 「講演会」 94名参加/定員80名 H27.11.14 「事例検討会」 30名参加/定員60名 H28.2.11 「模擬カンファレンス」 71名参加/定員60名 在宅緩和ケア従事者研修（看護師を対象とした研修）※その他の医療従事者を含む（3日間 H28.1.16-17、H28.2.13） 24名 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム インテンシブコース <ul style="list-style-type: none"> H27.7.4 在宅がん医療・緩和医療集中セミナー 36名参加 会場あき総合病院 H27.8.30 在宅がん医療・緩和医療集中セミナー 49名参加 会場高知会館 H27.11.29 在宅がん医療・緩和医療集中セミナー 23名参加 会場幡多けんみん病院 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県在宅緩和ケア推進連絡協議会開催 第1回H27.10.15 第2回H28.3.24 在宅緩和ケア推進連絡協議会作業部会 <ul style="list-style-type: none"> 第1部会 地域連携促進部会 (2回) 第2部会 緩和ケア研修部会 (12回) 第3部会 患者の声を届ける部会 (3回) 高知県のがん患者さんの在宅療養生活についての調査 ※8施設15件の協力があり、うち有効回答は13件
<p>6. がん登録の推進</p> <p>個別目標 (1) 地域がん登録実施医療機関数を増加させる。 (H19:13機関、H23:32機関) (2) 地域がん登録のDCOを20%以下にする。 (H15:39.4%、H20:27.6%)</p>	<p>○地域がん登録の推進と登録情報の活用</p> <p>○院内がん登録の推進</p>	<p>【現状値】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域がん登録実施医療機関数 H25:160機関（登録票作成58 廻り調査のみ102） (2) DCO H23:11.9% <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん登録評価事業（H26.4.1～H27.3.31） 委託先：国立大学法人高知大学 廻り調査 2011年データについて実施 回答率90%（出張採録実施） 2012年データについて実施中 生存確認調査 2008年・2010年データについて実施 （消息判明率：2008年—98.9% 2010年—98.3%） 2009年・2011年データについて実施中 高知県がん登録研修会の開催 高知がん診療連携協議会がん登録部会主催 H26.10.18：54名参加 H27.2.28：55名参加 	<p>【現状値】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域がん登録実施医療機関数 H26:145機関（登録票作成56 廻り調査のみ89） (2) DCO H24：2.9% ※2012(H24)の死亡小票で、2006年以前の発症と思われるがんについては集計対象外とした。 <p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん登録評価事業（H27.4.1～H28.3.31） 委託先：国立大学法人高知大学 廻り調査 2012年データについて実施 回答率91% 2013年データについて実施中 生存確認調査 2009年・2011年データについて実施 （消息判明率：2009年—99.2% 2011年—98.5%） 高知県がん登録研修会の開催 高知がん診療連携協議会がん登録部会主催 ①H27.6.27 52名参加 ②H28.2.7 105名参加 全国がん登録の開始に向けた医療機関への説明会の開催(3回) H27.11.4 高知市、 H27.11.6 宿毛市、 H27.11.9 安芸市 全国がん登録における指定診療所数 51施設(H28.1.1指定 歯科診療含む)